

## 右見て、左見て！（うみのごセンター）



うみのごセンターでは、5月のグループ活動で交通安全に関する活動を行いました。まず、模擬信号を使って「赤は止まれ」「青は進め」のルールを確認しました。その後「お母さんと手をつないで」「白い線を意識して」事業団近くの道路を歩いてみました。横断歩道では左右の確認も経験しました。実際の道路を歩くということで、緊張感を持って歩いていましたが、園でのお散歩の経験もあってか皆さん上手に歩くことができました。普段は何気なく歩いてしまいがちですが、今回の経験を生かして、今後も交通安全に気を付けて道を歩いてほしいと思います。

## 「ぼかし」はいかが？（うしおワーク）

4月18日（土）、19日（日）に東静岡にぎわいゾーンにて平成27年度春の園芸市が開催され、うしおワークが『EMぼかし』・『生ごみ処理容器』・『ジャムおじさんの手作りジャム』を販売しました。『EMぼかし』とは米ぬかと挽き粉に有用微生物群を混ぜて作られた、肥料や土壌改良材として使用できる園芸用資材です。

今回は2日間とも晴天ではありましたが強風に見舞われて、客足が遠のくのではと心配されましたが、予想に反し、たくさんの方々にご来場いただきました。うしおワークのテントにもお客さんが大勢みえて、販売員として参加した利用者は、ぼかしの説明をしたり、商品の受け渡しをしたりと大活躍でした。皆さんもぜひ、ぼかしをお使いになって、家庭菜園やエコライフをエンジョイしてはいかがでしょうか。



## 深海ってすごい!!（ひびきワーク）

ひびきワークでは春のバスハイクとして「沼津港深海水族館」へ行ってきました！

貴重なシーラカンスの冷凍個体やキラキラと幻想的に光るヒカリキンメダイ、少し？ユニークなダイオウグソクムシ・タカアシガニ・ヒョウモンダコなどなど……。住んでいる生き物の生命の神秘さ、光の届かない深海の不思議さや面白さに魅入られました。お土産もしっかりと購入した後は、NEOPASA 駿河湾沼津で美味しいランチに舌鼓。買い物も楽しみ、存分に満喫出来た一日でした。



### 編集後記

交通安全教室や園芸市、バスハイクなど各施設様々な行事があり、紙面を作成しながらも利用者さんが楽しんでいる様子が目に浮かんできました。

今回より、印刷業者の方に印刷を依頼してみました！紙の感じも大きく変わり、きれいに印刷出来たのではと思います。是非、隅から隅まで読んでみてくださいね！

【編集担当：広報委員会】

静岡市しみず社会福祉事業団より

第282号

平成27年 夏号



# つばき

Tsu Ba Sa

発行  
静岡市しみず社会福祉事業団  
静岡市清水区駒越西2丁目10番10号  
電話 054(335)5050  
FAX 054(335)7821

〈URL〉<http://plaza.across.or.jp/~shimizu-294/>



感動をありがとう!

6月10日（水）、静岡市西ヶ谷総合運動場で「第38回中部地区交流スポーツ大会」が行われました。この大会は、県知的障害者福祉協会に加盟する中部地区の施設が一堂に会して行われるもので、当事業団からは、うしおワークとうなばら学園が参加しました。この日は快晴の中、陸上競技場では大玉転がしや順送球など7競技が、隣接する軟式野球場ではソフトボール競技が行われ、みなさん汗をかきながら一生懸命頑張りました。

成績は、うしおワークが順送球で3位、混合リレーで3位、ソフトボールは優勝し、7連覇を達成しました。おめでとうございます。

# 事業団トピックス

## やっぱりお寿司はおいしいなあ～

平成27年2月17日(火)に、沼津魚がし鯨様による施設訪問(慰問)事業が当事業団で行われ、当事業団利用者132人、職員42人に握り鮨を振舞っていただきました。

この事業は、沼津魚がし鯨様が東日本大震災後に現地にて炊き出しの提供を行った体験から、助け合う気持ちと感謝の気持ちを目的として始めたそうです。

利用者の皆さんは普段の給食では食べることのない握り鮨に大喜び。いつもより食べるスピードが速くあっという間に食べちゃいました。今回の慰問事業のお礼としてうなばら学園の利用者が、日中活動で取り組んでいる音楽クラブでの演奏をセレモニーで披露して大好評でした。

沼津魚がし鯨様、ありがとうございました!



## 平成27年度 体制一覧

### 〈法人本部〉

役職名	氏名
理事長	藤岡 進
常務理事兼事務局長	大塚 康夫

### 〈各施設〉

施設名	施設長
静岡市清水みなとふれあいセンター	櫻井 嗣久
静岡市清水ひびきワーク	松田 智治
静岡市清水うみのこセンター	小長谷 忠
静岡市清水うしおワーク	池上 広司
静岡市清水うなばら学園	望月 伸悟
静岡市清水なぎさホーム	大塚 明子
障害者相談支援センターわだつみ	櫻井嗣久(兼務)

### ●新任職員紹介(平成27年4月1日付)

〈静岡市清水ひびきワーク施設長 松田智治 より〉

4月からひびきワークの施設長として、みなさんと一緒に活動ができ大変うれしく思っています。これからも、就労作業の他にも楽しい行事を計画していきますので是非皆さんの参加を待っています。

## 平成26年度 決算報告

《資金収支計算書》 【単位:千円】

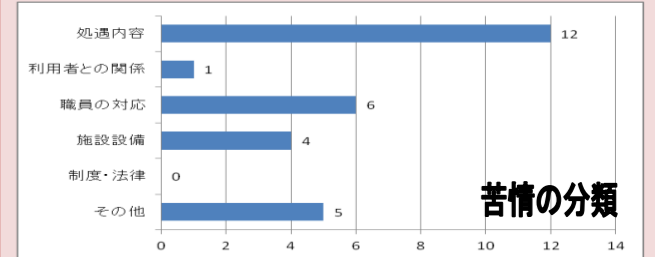
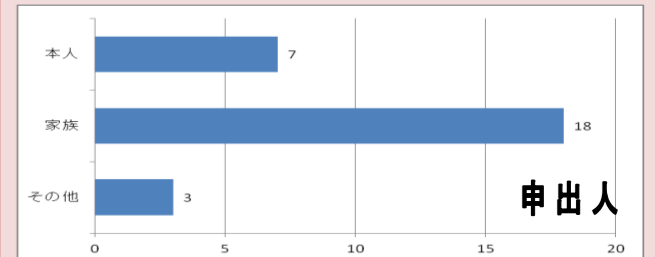
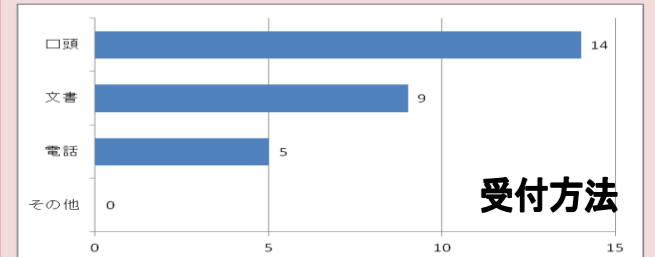
勘定科目	予算額	決算額	差異
収入 授産事業収入 ①	9,313	8,924	389
支出 授産事業支出 ②	9,313	8,924	389
授産事業活動資金収支差額 ③ = ①-②	0	0	0
収入 自立支援費等収入	287,484	288,374	△ 890
補助事業等収入	11,799	11,799	0
受託事業収入	82,674	82,751	△ 77
経営経費補助金収入	158	158	0
寄附金収入	471	470	1
雑収入	2,543	2,589	△ 46
受取利息配当金収入	172	181	△ 9
会計単位間繰入金収入	11,586	11,586	0
経理区分間繰入金収入	28,064	27,994	70
福祉事業活動収入 計 ④	424,951	425,902	△ 951
支出 人件費支出	310,556	310,051	505
事務費支出	40,651	40,383	268
事業費支出	20,726	20,149	577
会計単位間繰入金支出	11,586	11,586	0
経理区分間繰入金支出	28,064	27,994	70
福祉事業活動支出 計 ⑤	411,583	410,163	1,420
福祉事業活動資金収支差額 ⑥ = ④-⑤	13,368	15,739	△ 2,371
収入 施設整備等補助金収入	200	0	200
施設整備等寄附金収入	0	200	△ 200
施設整備等収入 計 ⑦	200	200	0
支出 固定資産取得支出	583	785	△ 202
施設整備等支出 計 ⑧	583	785	△ 202
施設整備等資金収支差額 ⑨ = ⑦-⑧	△ 383	△ 585	202
収入 積立預金取崩収入	1,568	1,568	0
その他の収入	505	504	1
財務収入 計 ⑩	2,073	2,072	1
支出 積立預金積立支出	6,000	6,000	0
その他の支出	474	469	5
財務支出 計 ⑪	6,474	6,469	5
財務活動資金収支差額 ⑫ = ⑩-⑪	△ 4,401	△ 4,397	△ 4
当期資金収支差額合計 ⑬ = ③+⑥+⑨+⑫	8,584	10,757	△ 2,173
前期末支払資金残高 ⑭	183,110	183,114	△ 4
当期末支払資金残高 ⑬+⑭	191,694	193,871	△ 2,177

《貸借対照表》 【単位:千円】

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	200,819	流動負債	6,948
現金預金	151,578	未払金	5,551
未収金	49,102	預り金	1,397
前払金	139		
固定資産	138,204	固定負債	60,572
建物	16	退職給与引当金	60,572
構築物	489	負債の部 合計	67,520
車両運搬具	2,765		
器具及び備品	4,219	純資産の部	
権利	519	基本金	3,000
退職給与積立預金	21,711	基本金等特別積立金	3,000
その他の固定資産	8,837	国庫補助金等特別積立金	146
事業運営資金積立預金	96,648	国庫補助金等特別積立金	146
		その他の積立金	118,359
		退職給与積立金	21,711
		事業運営資金積立金	96,648
		次期繰越活動収支差額	149,998
		次期繰越活動収支差額	149,998
		純資産の部 合計	271,503
資産の部 合計	339,023	負債+純資産の部 合計	339,023

## 平成26年度 苦情解決結果報告

平成26年度において苦情解決責任者が解決した苦情及び要望事項は、各施設の総数として28件でした。なお、個々の苦情解決に際して第三者委員に報告した案件、並びに直接第三者委員が受け付けた案件は、ありませんでした。



以上の結果を踏まえ、平成27年5月12日に第三者委員会への報告会を開催し、各施設の苦情解決責任者が第三者委員に苦情の内容等について報告を行いました。

分類	内容
処遇内容	・活動時、聴覚障害者への説明が不十分 ・教室の実施回数が少ない ・作業内容を充実させてほしい ・活動内容に変更があった場合は事前に知らせて欲しい
利用者との関係	・相性の合わない利用者同士で作業させないで欲しい
職員の対応	・バス乗降時、利用者を後ろから強く押す形での誘導を改めてほしい ・あいさつをしない職員がいる ・手紙や文書は担当職員から渡してほしい ・何度連絡を入れても折り返しの連絡がなく、不信感を抱いた
施設設備	・障害者が駐車しやすい駐車場がなく不便 ・ホールに置かれているイスなどが壊れているが大丈夫か ・トイレなど衛生面が気になる